

## ご報告:コンゴ共和国(ポワント・ノワール市) 消防・救急車両寄贈事業

平成27年度在コンゴ民主共和国日本大使館「草の根・人間の安全保障無償資金協力」寄贈事業のもと、同国ポワント・ノワール市へ日本の自治体・企業より無償譲渡頂いた消防車5台、救急車1台、防火衣一式を寄贈いたしました。

車両の現地到着後2016年6月～7月、消防分野として大分市、メンテナンス・整備分野として飛鳥特装(株)の協力により現地へ専門家を派遣いただき、寄贈車両の操作、メンテナンスに関する技術指導研修を行いました。

### <現地写真>

<p>1</p>	<p>&lt;整列・訓練準備&gt;</p> <p>日本の自治体消防では日課となる準備体操とトレーニングを紹介、毎朝集合して行った。</p> <p>現地には特に決まったルールがなく、個人の判断にゆだねられており、腕立て伏せでは体格の良いコンゴ人も直ぐに音を上げた。</p> <p>指導をする大分市消防局 佐藤俊輔氏(右端)</p>	
<p>2</p>	<p>&lt;ホースの取扱い&gt;</p> <p>日本でのホースの収納方法について説明</p> <p>メンテナンスコース指導員の飛鳥特装(株) 澁谷太一氏(左端)も指導に加わり練習を繰り返し替えした(澁谷氏は地元消防団員を長く勤めている)。</p>	

<p>3</p> <p>&lt;ロープの取扱い&gt;</p> <p>頑丈で取り外しも容易な「もやい」を中心にロープの取扱いを指導。</p> <p>現地消防はフランスなどから寄贈された救助資機材を僅かながら所有しているが、盗難防止のため、必要に応じて倉庫から出す習慣となっている。</p>		
<p>4</p> <p>&lt;車両の取扱い&gt;</p> <p>タンク車、ポンプ車の基本的な取り扱いを指導。</p> <p>メンテナンスコースでは澁谷氏から日常点検要領を指導した。</p>		
<p>5</p> <p>&lt;車両の取扱い&gt;</p> <p>日本製救急車の基本的な取扱いを指導。</p>		

<p>6</p>	<p>&lt;引渡式&gt;</p> <p>7月8日11時、ポワント・ノワール市役所前にて寄贈車両の引渡式が取り行われた。</p> <p>在コンゴ民主共和国日本大使館 野口修二・臨時代理大使(右端)からポワント・ノワール市 ビクター・フディ第一副市長へ車両のキーが手渡された。</p> <p>中央は内務省 ジャック・バノゴ市民安全局長(消防長官)。</p>	
<p>7</p>	<p>&lt;引渡式&gt;</p> <p>取材に応じるポワント・ノワール市 エバリスト・リンガ消防署長</p> <p>日本からの寄贈に感謝を述べるとともに、寄贈車両の運用責任者として新しい分署の整備計画などに取り組む姿勢を述べた。</p>	
<p>8</p>	<p>&lt;引渡式&gt;</p> <p>引渡式の後、寄贈車両を使った放水デモンストレーション</p> <p>まだまだ不慣れで失敗もあったが、ホースや操作について研修で学んだことを守ろうと悪戦苦闘する姿に、指導員も感激して拍手を送った。</p>	

<p>9</p>	<p>&lt;引渡式&gt;</p> <p>中央の消防車前列右から佐藤氏、野口臨時代理大使、リング署長、澁谷氏、(一社)日本外交協会 森田千博、在コンゴ民主共和国日本大使館中野華子・草の根担当。</p> <p>前列の隊員達は東電フュエル(株)供出の防火衣を着て喜んだ。</p>	
<p>10</p>	<p>&lt;修了式&gt;</p> <p>7月8日最終日、帰国ギリギリまで指導を行った後、修了式を行った。</p> <p>指導員の佐藤氏(左端)、澁谷氏(左から2番目)より各参加者へ修了証が手渡され、研修の振り返りや意見交換などを行った。</p>	
<p>11</p>	<p>&lt;修了式&gt;</p> <p>日本の国旗に集まる研修生</p> <p>国旗を掲げる佐藤氏、澁谷氏と並ぶリング署長、右端は当協会森田</p>	